



北見工業大学

# 学報

平成17年10月 事務局総務企画課発行 第212号

## 進学説明会の開催



## 「高齢者パソコン教室」を実施



(関連記事11・13ページに掲載)

Kitami Institute of Technology

---

## 目 次

---

学位記授与式	平成17年度9月期学位記授与式挙行	3
入 学 式	平成17年度秋季大学院入学式挙行	3
入 試	平成18年度学生募集要項の公表	4
	大学院入学試験の実施	4
研究助成	第5回内藤記念若手研究者海外派遣助成金交付決定	5
	平成17年度民間等との共同研究の受入状況	5
	平成17年度受託研究の受入状況	6
	平成17年度奨学寄附金受入状況	6
人 事	人事異動	7
	新任者紹介	7
研 修	平成17年度国立大学法人北見工業大学職員研修	8
	簿記研修の実施	8
国際交流	北見工業大学創立45周年記念国際ワークショップを開催	9
諸 報	全学説明会の開催	10
	学長と学生による懇談会を実施	10
	進学説明会の開催	11
	業務監査の実施について	11
	消防訓練を実施	12
	北見工業大学創立45周年記念講演会	12
	「高齢者パソコン教室」を実施	13
	平成17年度の構内美化作業を終了	13
	平成17年度交通安全講習会を実施	14
規 程	国立大学法人北見工業大学学長選考規程の一部を改正する規程	15
	国立大学法人北見工業大学学長選考規程細則	16
日 誌	9月・10月	19

**= 学位記授与式 =****平成17年度9月期学位記授与式举行**

(総務企画課)

平成17年度9月期学位記授与式が、9月16日(金)午前10時から、学長室で行われました。

今回の授与式は、理事、副学長、指導教官が列席する中、大学院工学研究科博士前期課程情報システム工学専攻修了者の范薇氏、秋季入学修了者大学院工学研究科博士後期課程システム工学専攻修了者の阿里木江依明氏、佐藤誠氏の3人に対し、常本学長から学位記が授与されました。

**= 入学式 =****平成17年度秋季大学院入学式举行**

(総務企画課)

平成17年度秋季大学院入学式が、10月3日(月)午前10時から第1会議室で行われました。

入学者は、博士後期課程システム工学専攻納谷弘さん、佐藤厚子さんの2人で、いずれも社会人入学の方です。

式では、入学許可の後、学長の式辞、役職員等の紹介が行われ、無事終了しました。



入学許可された納谷弘さんと佐藤厚子さん

## =入試=

## 平成18年度学生募集要項の公表

(入 試 課)

平成18年度北見工業大学学生募集要項（一般選抜・特別選抜）が10月に公表されました。

要項の内容は、7月に公表された入学者選抜要項の内容を含め、出願手続、個別学力検査実

施日程の詳細、検定料その他入学者選抜上の具体的事項及び留意点を記載し、出願書類等を同封したものです。

## 大学院入学試験の実施

(入 試 課)

平成17年度秋季及び平成18年度大学院入学試験が、8月22日～24日に実施されました。

課程別専攻別の合格者数等は次表のとおりです。

## 平成17年度(秋季)博士後期課程(社会人選抜)

専攻名	募集人員	志願者	合格者
システム工学専攻	若干人	2	2
物質工学専攻		0	0
合計		2	2

## 平成18年度博士前期課程(外国人留学生特別選抜)

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
機械システム工学専攻	若干人	0	0	0
電気電子工学専攻		0	0	0
情報システム工学専攻		1	1	1
化学システム工学専攻		0	0	0
機能材料工学専攻		0	0	0
土木開発工学専攻		0	0	0
合計		1	1	1

## 平成18年度博士前期課程(一般選抜)

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
機械システム工学専攻	16	19	19	18
電気電子工学専攻	16	14	13	10
情報システム工学専攻	16	13	12	11
化学システム工学専攻	14	18	17	17
機能材料工学専攻	10	11	11	11
土木開発工学専攻	20	12	10	9
合計	92	87	82	76



## ＝研究助成＝

## 第5回内藤記念若手研究者海外派遣助成金交付決定

(研究協力課)

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付金額
化学システム工学科	助 手	服部 和幸	2005環太平洋国際化学会議出席に係る助成	千円 250

## 平成17年度民間等との共同研究の受入状況

平成17年10月21日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民間機関等名
土木開発工学科	教 授	鈴木 輝之	粒状凍結防止剤を利用した冬期土工への応用に関する研究	北海道日本油脂(株)
土木開発工学科	教 授	鮎田 耕一	機能性コンクリートに適用する化学混和剤の研究	日産化学工業(株)
土木開発工学科	教 授	鈴木 輝之	土質安定剤の凍上抑制効果の検証	(株)菱 晃
電気電子工学科	助教授	柏 達也	スーパーコンピューターを使った車載アンテナ特性のシミュレーションに関する研究	(株)本田技術研究所
土木開発工学科	教 授	鈴木 輝之	芝のり面の凍上挙動と被害対策	網走地方芝生販売共同組合
電気電子工学科	助教授	熊耳 浩	GPS/GISを用いた除雪支援システムの開発	斜里建設工業(株)
土木開発工学科	教 授	大島 俊之	橋梁マネジメントシステムの開発に関する研究	(財)北海道道路管理技術センター
地域共同研究センター	助教授	有田 敏彦	下水処理汚泥コンポストの活用調査研究	(社)北見工業技術センター運営協会
機械システム工学科	助教授	柴野 純一	水素透過複相合金の耐水素脆化機構解明のための調査研究	(社)北見工業技術センター運営協会
機械システム工学科	教 授	二俣 正美	移動式水洗トイレに関する要素技術の開発	(社)北見工業技術センター運営協会
土木開発工学科	教 授	鈴木 輝之	凍結作用を受ける芝のり面における多機能フィルターの補強効果	多機能フィルター株式会社
機械システム工学科	助教授	三木 康臣	空気集熱式ソーラーパネルの熱電ハイブリッド化に関する研究	矢崎総業(株)
地域共同研究センター	教 授	鞘師 守	鉄担持処理木炭の発色機構解析	(株)福地工業
土木開発工学科	助教授	桜井 宏	旧士幌線コンクリートアーチ橋梁群等への自然散策路用構造物の保存活用に関する調査研究	上士幌町役場
機械システム工学科	教 授	坂本 弘志	建物外壁通気層の通気性能と壁体内湿気の排出に関する研究	クボタ松下電工外装株式会社
国際交流センター	教 授	山岸 喬	オホーツク産食素材より高機能食品の創出	(株)はるにれバイオ研究所

平成17年度累計 70件

## 平成17年度受託研究の受入状況

平成17年10月21日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究担当者	研究題目及び研究期間	委託機関	所要経費 <sup>円</sup>
電気電子工学科	教 授	山城 迪	キャパシタ性能向上手法に関する研究	日産ディーゼル工業(株)	630,000
土木開発工学科	教 授	川村 彰	シミュレーションによる路面プロファイル評価解析委託業務	(独)北海道開発土木研究所	3,724,542
機能材料工学科	教 授	青木 清	メンブレン合金の開発	(株)日本製鋼所	15,015,000

平成17年度累計 10件

## 平成17年度奨学寄附金受入状況

平成17年10月21日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額 <sup>円</sup>
国際交流センター	教 授	山岸 喬	工学研究	(株)ユニカフェ	600,000 <sup>円</sup>
機械システム工学科	教 授	富士 明良	工学研究	(株)ユニカフェ	600,000
機械システム工学科	教 授	坂本 弘志	横銅縁材を有する外壁通気層の性能評価に関する研究	旭トステム外装株式会社	500,000
電気電子工学科	助教授	菅原 宣義	配電用がいし類の塩雪害および絶縁特性に関する研究	北海道電力(株)	1,000,000
電気電子工学科	助教授	菅原 宣義	学術研究助成の為	森永乳業(株)装置開発研究所	300,000
土木開発工学科	教 授	大島 俊之	工学研究のため	(株)ドーコン	1,000,000
土木開発工学科	教 授	海老江邦雄	工学研究のため	オルガノ株式会社	500,000
土木開発工学科	教 授	大島 俊之	低温条件下における落橋防止システムの機能試験	オイレス工業株式会社	1,000,000
化学システム工学科	助 手	服部 和幸	2005環太平洋国際化学会議(Pacificchem 2005)にて口頭発表のため	服部 和幸(内藤記念若手研究者海外派遣助成金分)	250,000
機械システム工学科	教 授	富士 明良	工学研究助成のため	(株)北翔システム	100,000
地域共同研究センター	助教授	有田 敏彦	研究助成のため	(株)北翔システム	100,000
化学システム工学科	教 授	堀内 淳一	汚泥の生物分解に関する技術指導	栗田工業(株)	800,000
化学システム工学科	教 授	堀内 淳一	機能性食品の生産プロセスに関する研究	株式会社 生物有機化学研究所	500,000
地域共同研究センター	センター長	鈴木 輝之	オホーツク地域の行政・民間機関との共同研究・研究交流及び、技術指導、教育、開発などを推進するため	北見工業大学地域共同研究センター推進協議会	280,000
地域共同研究センター	センター長	鈴木 輝之	オホーツク地域の行政・民間機関との共同研究・研究交流及び、技術指導、教育、開発などを推進するため	北見工業大学地域共同研究センター推進協議会	1,500,000

平成17年度累計 53件

## =人事=

## 人 事 異 動

(総務企画課)

## ○大学発令

発令年月日	現 職 名	氏 名	異 動 内 容
17. 10. 1	(新規採用)	三 戸 陽 一	機械システム工学科助教授
17. 10. 1	(新規採用)	前 田 康 成	情報システム工学科助手

## 新 任 者 紹 介

○機械システム工学科助教授に <sup>みと</sup> <sup>よういち</sup> 三 戸 陽 一 氏

- 昭41. 9. 14生  
 平 9. 9 東京大学大学院工学系研究科博士後期課程修了  
 平 9. 9 博士 (工学) (東京大学)  
 9. 10 科学技術庁航空宇宙技術研究所科学技術特別研究員  
 11. 6 アメリカ合衆国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校  
 リサーチ・アソシエイト  
 17. 10 北見工業大学工学部機械システム工学科助教授

○情報システム工学科助手に <sup>まえだ</sup> <sup>やすなり</sup> 前 田 康 成 氏

- 昭47. 11. 27生  
 平 9. 3 早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了  
 平16. 12 博士 (工学) (早稲田大学)  
 9. 4 N T T 東京支社  
 9. 8 N T T 情報通信研究所研究員  
 11. 1 N T T サイバースペース研究所研究員  
 12. 4 N T T 東日本研究開発センター  
 17. 10 北見工業大学工学部情報システム工学科助手



**= 研修 =**

**平成17年度国立大学法人北見工業大学職員研修**

(総務企画課)

平成17年度国立大学法人北見工業大学職員研修が9月8日(木)から9月9日(金)までの2日間にわたり、本学屈斜路研修所を会場に合宿形式で実施されました。

この研修は、国立大学法人における大学運営の在り方について、講話又は演習を通じて意識改革・資質の向上を図り、本学のより円滑な運営に資することを目的として昨年度から事務局の係長、主任及び中堅職員を対象として実施しており、今年度は、事務職員15名が受講しました。

研修では、常本学長を始め、土岐監事、(株)長谷川建材長谷川代表取締役社長、(株)吉崎工業所徳本代表取締役社長及び市山総務企画課長によ

る講演が行われました。プログラムの最後には、2班に分かれての班別討議で活発な意見交換が行われ、各班の代表者からそれぞれの討議結果について、発表がありました。



班別討議結果の発表

**簿記研修の実施**

(財 務 課)

国立大学法人会計基準を理解する上で最低限必要となる、基礎的な簿記知識を習得させるため、主に平成16年度以降新規採用者を対象に簿記研修を行った。

9月22日から11月10日までの間に14回の講義が行われ、財務課を始めとする各課の受講者は、講師である税理士の講義に熱心に耳を傾け、日商簿記検定3級の合格を目指して奮闘していた。



## = 国際交流 =

### 北見工業大学創立45周年記念国際ワークショップを開催

(研究協力課)

10月21日(金)から10月23日(日)にかけて、第2回ガスハイドレート関連研究国際ワークショップ「将来のエネルギーと環境を考える」を総合研究棟2F多目的講義室において開催しました。

この国際ワークショップは、本学創立45周年記念参加事業の一つとして、これまでのガスハイドレート研究の成果を集約して生成過程に対する理解を深めるとともに、今後の研究方向を明らかにすることを目的に行われました。

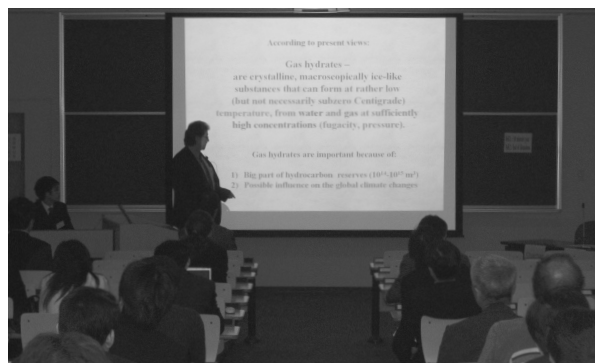
2日目の講演では、本学卒業生で元環境副大

臣の参議院議員加藤修一氏を招いて地球温暖化問題をテーマにした講演が行われました。

国内からは大学、企業等から12機関、海外はロシア、ベルギー、韓国、台湾、中国から合わせて約80人の研究者が、「フィールド調査」、「バイオマス」、「ハイドレート・水素・メタン」、「力学的性質1」、「力学的性質2」、「ハイドレート生成と工学」の6つのセッションテーマで40件の講演を行い活発な質疑応答がありました。



セッションを熱心に聞き入る参加者



講演するマズレンコ氏（ロシア）



## ＝諸報＝

### 全学説明会の開催

(総務企画課)

9月26日(月)午後4時からC122講義室において教職員を対象に「大学をとりまく最近の動向」と題しての全学説明会を開催しました。

説明会には、150人近くの参加者があり、学長から、人事院勧告の内容やそれに対する国立大学法人の対応等について説明がありました。

引き続き、質疑応答が行われ、活発な意見交換が行われました。



### 学長と学生による懇談会を実施

(総務企画課)

本学の創立45周年記念事業の一環として、9月28日(水)、「学長と学生による懇談会」が実施されました。

常本学長を始め、各学科・各専攻から9名の学生が参加し、「学長から学生に望むこと、学生から大学に要望すること」をテーマに活発な話し合いがなされました。

学長は、国立大学の法人化に伴って始まった評価制度について詳しく学生に説明したほか、構内・学習環境整備の計画や今後の課題など、大学の展望について語りました。

学生たちは、留学先や他大学の授業のより柔軟な単位互換制度の導入や、出欠確認のカード化、学科の枠を取り払った幅広い科目履修シス

テムなど、様々なアイデアを学長へ提言し、また、社会人経験のある学生からは、「OB・OGとの話し合いの場を積極的に持って、視野を外に向けたべき」、「努力を続けていれば、必ず社会に認められる実力がつくので、もっと誇りを持ってほしい」と、先輩から後輩へのアドバイスも飛び出しました。

最後に学長から、「夢を持ち、自分で道を切り拓いてほしい。みなさんの活躍を期待しています。」と学生にエールを送り、学生からは「今後も懇談会を設けてほしい」との声もあがるなど、友好的な意見交換の場として、有意義な懇談会となりました。



和やかに学生に語りかける常本学長



学長の話真剣に耳を傾ける学生たち

## 進学説明会の開催

(入試課)

8月27日(土)に大阪、翌28日(日)に名古屋において、北海道進学コンソーシアム大学進学説明会が開催されました。

北海道進学コンソーシアムは北海道内の国公立大学が協力して入試広報を行うことを目的として、現在10大学(北海道大、北教大、室蘭工大、小樽商大、帯畜大、旭川医大、北見工大、釧路公立大、公立はこだて未来大、札幌医大)で組織されています。

今回の進学説明会では、北海道への大学進学者が比較的多い関西・東海地方の高校生等に対し、北海道の魅力伝える参加10大学のリレー

トークや各大学ブースでの個別面談が行われました。

また、9月10日(土)に、本学への志願者が比較的多い東北地方への広報事業として、本学単独による進学説明会を、初めての試みとして開催されました。当日は、本学の教員が参加者と個別に対応し、「北見工大についてたくさんの情報が得られた」、「来年も開催して欲しい」など好評を得られました。

さらに、9月23日(金)には、東京のサテライト・オフィスにおいても国立8大学合同の進学説明会が開催されました。



北海道進学コンソーシアム大学進学説明会  
(名古屋会場)



盛岡の進学説明会

## 業務監査の実施について

(総務企画課)

10月4日(火)、土岐監事及び岩城監事による平成17年度中間業務監査が本学第2会議室を会場に実施されました。

午前中は、「平成17年度年度計画の進捗状況」及び「平成17年度予算の執行状況」について資料により説明を行い、これらに対する監事から

の意見・質問等を伺いました。

また、午後からは、「平成16年度財務諸表の分析結果」について、資料により報告を行いました。

最後に、両監事から講評をいただき、業務監査が終了しました

## 消防訓練を実施

(財務課)

平成17年10月7日(金)午後3時から消防訓練を実施しました。

今回は、化学システム工学科棟2階化学システム会議室から出火という想定で、通報・初期消火・避難救助の総合訓練に加え、緩降機による避難やシュノーケル車による避難訓練も交えて行いました。

消火訓練中、初めての屋内消火栓のホースの取扱いにとまどう場面もみられましたが、全員真剣に訓練に取り組み、各班のそれぞれの役割にそったすみやかな行動で訓練にあたりました。



水消火器を使つての消火訓練

自衛消防隊の訓練終了後は附属図書館前の中庭で、消火器の使用説明を受けました。消火器は今年から環境に配慮して水消火器に変更し、火元と想定した的をねらう消火訓練を行いました。

北見地区消防組合消防本部からは、火災警報機に係る条例改正の説明と暖房器具等の火の取扱いに対する注意喚起の講評がありました。

最後に学長から、防火に対する各自の自覚を望む旨の訓示があり、午後3時40分、予定より早く消防訓練を無事終了することができました。



シュノーケル車での避難訓練

## 北見工業大学創立45周年記念講演会

(総務企画課)

10月12日(水)、創立45周年記念事業の一つとして、午後3時から総合研究棟多目的講義室において、前東京大学総長 佐々木毅氏をお招きし、「大学の将来像について」と題して講演会を開催しました。

講演では、国立大学の法人化について、「大学が意義あるものとして社会に認められるよう説明責任を負った。説明する際は、一般市民にうまく伝える為に、何段階か“翻訳”する必要があり、そのための人材の存在が重要である」と述べられ、今後、社会との関わりが重要になっていくと強調されました。

講演には、学長を始め100人近い教職員の参加があり、熱心に聞き入っていました。



熱弁をふるう佐々木毅前東京大学総長



## 「高齢者パソコン教室」を実施

(教務課)

10月19日から21日までの3日間、地域貢献の一環として高齢者対象にインターネット、メールの使い方を中心としたパソコン教室を、本学のCALL教室で開催しました。このパソコン教室は、本年3月に高齢者対象および女性対象に実施しており、本学が平成16年度に採択された現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）の中のe-生きがい創生支援プログラムの一環としての役割を担っております。

学生が講師補助として参画することにより、教えることの難しさおよび人と人とのつながりの大切さ等、「人間力」形成の向上につながると期待されます。

また、昨今普及しているデジタルカメラの扱い方とデータ取り込み等についても指導することにより、パソコンを楽しく便利に利用するこ

とができました。

受講希望者が殺到したため、今回は24名までを受入れましたが、年齢は60歳から87歳までと高齢者のチャレンジ精神に驚かされました。

今後も、パソコン教室は数回開催する予定です。



パソコン教室参加者

## 平成17年度の構内美化作業を終了

(財務課)

平成17年5月9日(月)から、毎月2回、半年に渡って実施してきた構内の美化作業が10月24日(月)をもって終了いたしました。

この美化作業は平成5年度から、毎年全学の教職員と学生の協力を得て実施しているものです。



ごみ拾い作業中

短い作業時間にもかかわらず、構内美化に対して効果は絶大で、13年間途切れることなく毎年実施されてきました。

今年度、最後になる美化作業も、各自がごみ袋とトングを手に、芝生の上や道路などに落ちている空き缶、たばこの吸い殻等のごみを丹念



拾ったごみの分別作業

に拾い、熱心に行われました。

構内は、まもなく雪に覆われる季節を迎えますが、今年度の皆様のご協力に感謝するとともに、

今後も、各自が構内美化への意識を高め、クリーンなキャンパスが維持されることを期待しております。

## 平成17年度交通安全講習会を実施

(学生支援課)

学生及び教職員を対象とした標記講習会が、10月31日(月)午後4時20分からC122講義室で実施され、約300名が受講しました。

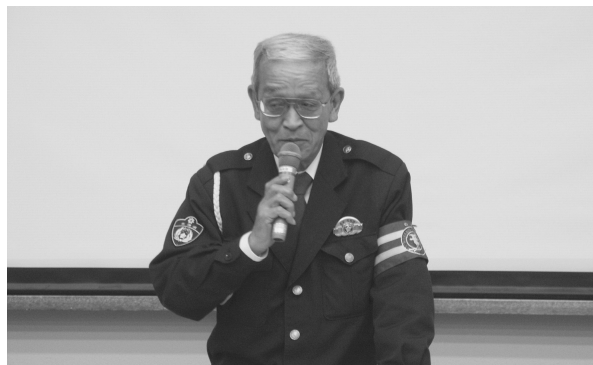
講習会では、高橋副学長からの挨拶のあと、北見警察署佐藤交通課長から今年の北見警察署管内の交通事故発生状況等に関する説明及び交通安全啓発についての講演があり、続いて、野付牛自動車学校の三好指導員による安全運転に関する指導がありました。その中で交通事故の当事者の苦しみを主題とした歌手“さだまさし”

さんの曲「償い」の鑑賞時間が設けられ、交通事故に関わることの重大さについて、日頃から一人一人が自覚して欲しいとの熱心な訴えがありました。

交通安全講習会は本年度から1年次開講科目「総合工学Ⅰ」のカリキュラムの一つにもなっていることから、自動車通学者の他に1年次学生の受講が多数あり、受講者から交通安全に対する認識を新たにしたいとの感想が多く寄せられました。



熱心に耳を傾ける受講者



講演をする北見警察署佐藤交通課長



## = 規程 =

## 国立大学法人北見工業大学学長選考規程の一部を改正する規程

〈改正理由〉

学長選考に伴う所要の改正

平成17年10月24日  
北工大達第25号

## 新旧対照表

## 国立大学法人北見工業大学学長選考規程

改 正 案	現 行
第1条～第4条 (略)	第1条～第4条 (略)
(学長候補対象者)	(学長候補者)
第5条 選考会議は、次に掲げる者を学長候補対象者とするものとする。 一 選考会議の委員から推薦を受けた者 二 選考会議が、5人以上の専任の教授、助教授、講師及び助手から推薦を受けた者 三 国立大学法人北見工業大学経営協議会規程第2条第1項第4号に掲げる委員（選考会議の委員を除く。）から推薦を受けた者 四 選考会議が、自ら学長候補対象者となることの申出を受けた者	第5条 選考会議は、次に掲げる者を学長候補者とするものとする。 一 選考会議の委員から推薦を受けた者 二 選考会議が、5人以上の専任の教授、助教授、講師及び助手から推薦を受けた者 三 選考会議が、自ら学長候補者となることの申出を受けた者
(学長候補対象者の推薦手続)	(学長候補者の推薦手続)
第6条 選考会議は、推薦に必要な事項について公示するものとする。 2 学長候補対象者の推薦は、別に定める履歴等を明らかにした書面に、推薦者名簿（前条第4号の者を除く。）を添付の上、公示後15日以内に行うものとする。	第6条 選考会議は、推薦に必要な事項について公示するものとする。 2 学長候補者の推薦は、別に定める履歴及び所信等を明らかにした書面に、学長候補者となる者の同意書及び推薦者名簿を添付の上、公示後15日以内に行うものとする。
(学長候補対象者の絞込み)	(学長候補者の絞込み)
第7条 選考会議は、原則として学長候補対象者の絞込みを行うものとする。	第7条 選考会議は、学長候補者が4人以上の場合、原則として学長候補者の絞込みを行うものとする。
(意向聴取)	(意向聴取)
第8条 選考会議は、学長候補者の選考に際し、前条の絞込みを行った後の学長候補対象者について、次の各号の一に該当する者による意向聴取を行う。 一 学長 二 常勤の理事 三 専任の教授、助教授、講師及び助手	第8条 選考会議は、前2条の推薦及び絞込みを行った後の学長候補者の選考に際し、次の各号の一に該当する者による投票により意向聴取を行う。 一 学長 二 常勤の理事 三 専任の教授、助教授、講師及び助手 四 係長相当職以上の職員

<p>四 係長相当職以上の職員</p> <p>2 前項の意向聴取は、投票によるものとする。</p> <p>(学長候補者の決定)</p> <p>第9条 選考会議は、第7条に規定する絞込みを行った後の学長候補対象者の中から、第8条に規定する意向聴取の結果も参考に学長候補者を決定するものとする。</p> <p>第10条～第11条 (略)</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成17年10月24日から施行する。</p>	<p>(学長候補者の決定)</p> <p>第9条 選考会議は、意向聴取の結果も参考に学長候補者を決定するものとする。</p> <p>第10条～第11条 (略)</p>
---	---

## 国立大学法人北見工業大学学長選考規程細則

平成17年10月24日  
北工大達第26号

(趣旨)

**第1条** 国立大学法人北見工業大学学長選考規程(平成16年北工大達第174号。以下「選考規程」という。)第11条の規定に基づき、学長の選考に関し必要な事項を定めるものとする。

(学長候補対象者の推薦)

**第2条** 選考規程第6条第2項に規定する学長候補対象者の推薦に係る書面は、次の事項を記載した学長候補対象者推薦書によるものとする。

- 一 氏名
- 二 生年月
- 三 現住所
- 四 現職
- 五 履歴の概要
- 六 業績の概要
- 七 推薦理由

(学長候補対象者の絞込み)

**第3条** 選考規程第7条に規定する学長候補対象者の絞込みは、国立大学法人北見工業大学学長選考会議(以下「選考会議」という。)委員の投票により行う。

(投票の公示)

**第4条** 選考会議は、原則として投票日の10日前までに、選考規程第8条に規定する意向聴取の投票日時及び場所を公示するものとする。

(投票の資格)

**第5条** 投票の資格の有無は、当該投票日の公示の日現在をもって定める。ただし、投票日までに退職等の異動により、国立大学法人北見工業大学の役員又は職員でなくなったときは、異動の日から、その資格を失う。

(投票者名簿の作成)

**第6条** 投票者名簿は、選考会議が作成する。

2 前項の投票者名簿は、前条ただし書の規定による異動があったときは、その都度補正する。

(投票者名簿の縦覧)

**第7条** 投票者名簿は、公示日から投票日までの間、選考会議の指定した場所において縦覧に供するものとする。

(異議の申出)

**第8条** 投票の資格を有する者は、投票者名簿の登録に関し不服があるときは、前条の縦覧期間内に、選考会議へ異議を申し出ることができる。

2 選考会議は、前項の異議の申し出を受けたときは、その申し出が正当であるかないかを決定し、正当であると決定したときは、直ちに投票者名簿を訂正するものとする。

(公示)

**第9条** 選考会議は、選考規程第7条の規定により絞込んだ学長候補対象者について、意向聴取のための投票日の5日前までに、次の事項を公示するものとする。

- 一 氏名
- 二 生年月
- 三 現住所
- 四 現職
- 五 履歴の概要
- 六 業績の概要
- 七 推薦理由
- 八 学長候補対象者の所信

(不在者投票及び代理投票)

**第10条** 不在者投票は、行わないものとする。

2 代理投票は、認めないものとする。

(投票所)

**第11条** 投票所は、選考会議が指定した場所とする。

(投票管理者)

**第12条** 投票所に投票管理者を置き、選考会議の委員若干人をもって充てる。

(投票立会人)

**第13条** 投票所に投票立会人若干人を置く。

2 投票立会人は、投票者名簿に記載された者の中から、選考会議が委嘱する。

(投票用紙の交付等)

**第14条** 投票用紙は、投票所の受付において交付する。

2 投票用紙は、再交付しない。

3 投票用紙に印刷する学長候補対象者の氏名の順序は、五十音順とする。

(投票の方法)

**第15条** 投票は、1人1票に限るものとし、投票人が、自ら、投票所において、投票用紙に氏名が印刷された学長候補対象者のうちその投票しようとする者1人に対して、投票用紙の記載欄に○の記号を記載して、これを投票箱に入れる方法により行う。

(投票の効力)

**第16条** 投票の効力は、選考会議が判定し、次の各号のいずれかに該当する投票は無効とする。

- 一 所定の用紙を用いないもの
  - 二 所定の○の記号の記載方法によらないもの
  - 三 2人以上の学長候補対象者に対して○の記号を記載したもの
  - 四 学長候補対象者のいずれかに対して○の記号を記載したかを確認し難いもの
  - 五 その他選考会議において無効と認めたもの
- 2 ○の記号を自ら記載しないものは白票とする。  
(投票終了)

**第17条** 投票が終了したときは、投票管理者は、投票立会人とともに学長候補対象者意向聴取投票受付名簿を添付し、速やかに、投票箱を選考会議議長に送致しなければならない。  
(開票)

**第18条** 開票は、非公開とし選考会議が行う。

- 2 開票は、選考会議が定める場所で、即日行わなければならない。
- 3 開票を終了したときは、選考会議議長は、開票録を作成しなければならない。  
(投票結果の公示)

**第19条** 選考会議は、投票結果を直ちに公示しなければならない。

- 2 前項の投票結果の公示については、得票順によるものとし、得票同数者があるときは五十音順とする。  
(諸様式)

**第20条** 第2条の学長候補対象者推薦書、第7条の投票者名簿、第14条の投票用紙、第17条の学長候補対象者意向聴取投票受付名簿、第19条の開票録の様式は、選考会議が定める。  
(事務)

**第21条** 学長候補者の選考に関する事務は、総務企画課において処理する。  
(雑則)

**第22条** この細則に定めるもののほか、学長選考に関する必要事項については、選考会議が定める。

## 附 則

この細則は、平成17年10月24日から施行する。

## = 日誌 =

(総務企画課)

- |      |   |       |  |
|------|---|-------|--|
| 9月1日 | 教務委員会<br>第7回教育研究評議会                         | 10月3日 | 秋季入学式<br>後期授業開始<br>企画運営会議                |
| 2日   | 創立45周年記念第1回講演会                              | 4日    | 平成17年度中間業務監査                             |
| 5日   | 企画運営会議                                      | 5日    | 第8回教育研究評議会                               |
| 6日   | 地域共同研究センター産学官連携推進員・協力員合同会議<br>入学者選抜委員会      | 7日    | 情報技術街づくりフェア2005<br>消防訓練                  |
| 7日   | 大学院博士前期課程・後期課程 合格発表<br>第3回教授会<br>第10回研究科委員会 | 11日   | 入学者選抜委員会<br>推薦入学者選抜実施委員会                 |
| 8日   | 平成17年度職員研修(～9日)                             | 12日   | 創立45周年記念第2回講演会                           |
| 11日  | 父母懇談会(秋季)(盛岡)                               | 14日   | 国際交流委員会                                  |
| 12日  | 企画運営会議                                      | 15日   | 父母懇談会(秋季)(北見)                            |
| 16日  | 学位記授与式<br>第2回経営協議会<br>第2回学長選考会議<br>第3回役員会   | 19日   | パソコン教室①                                  |
| 21日  | 北海道地区国立大学学生指導担当副学長・学生関係部課長会議                | 20日   | パソコン教室②<br>第1回広報委員会                      |
| 26日  | 教務委員会                                       | 21日   | 北見工業大学創立45周年記念国際ワークショップ(～23日)<br>パソコン教室③ |
| 28日  | 安全衛生委員会<br>学長と学生による懇談会                      | 24日   | 第3回学長選考会議                                |
| 30日  | 第2回就職ガイダンス                                  | 26日   | 安全衛生委員会                                  |
|      |   | 31日   | 平成17年度交通安全講習会                            |



北見工業大学学報 第212号 平成17年10月発行

国立大学法人北見工業大学

事務局総務企画課

〒090-8507 北見市公園町165番地

TEL: (0157) 26-9116

FAX: (0157) 26-9122

E-mail: soumu05@desk.kitami-it.ac.jp

本報は、インターネットでもご覧いただけます。

<http://www.kitami-it.ac.jp/issue/gakho.htm>



再生紙使用